



兼商ストライド顆粒水和剤

農林水産省登録 第21578号

1/2

令和5年7月19日現在

適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルオリミドを含む農薬の総使用回数
りんご	黒星病 モニリア病	1500倍	200~700ℓ/10a	開花前まで	2回以内	散布	5回以内(開花前は2回以内、開花後は3回以内)
	褐斑病 炭疽病 黒点病 赤星病 黒星病 モニリア病			開花から収穫前日まで	3回以内		
	斑点落葉病 すす点病 すす斑病	1500~2000倍		収穫前日まで	3回以内		
西洋なし	輪紋病	1500倍					3回以内
かき	炭疽病 落葉病 すす点病	3000~4000倍		収穫14日前まで	4回以内		4回以内



アグロ カネショウ株式会社

<https://www.agrokanesho.co.jp/>



⚠ 効果・薬害等の注意

- 調製した薬液はできるだけ速く、その日のうちに散布する。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はさける。
- りんご、西洋なしに使用する場合、品種によって葉裏が茶褐色をおびることがあるが、通常、実用上の影響は認められていない。但し、りんごに使用する場合、樹勢の弱い樹、とくにスターキングでは梅雨明け頃の高温時の散布では落葉を助長するおそれがあるのでさける。
- いちご、日本なしには薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布する。
- かきに使用する場合は次のことに注意する。
 - ①MEP乳剤との混用散布及び7日以内の近接散布は薬害を生じる場合があるのでさける。
 - ②夏期高温時の他の薬剤との混用散布は薬害を生じる場合があるのでさける。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。
- 夏期高温時の使用をさける。

治療法…該当なし

魚毒性等…該当なし

保管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

